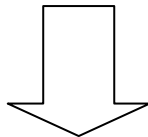


平成29年度 学校経営方針

子どもを生かすチーム春日野

【春日野小学校教育目標】

自分で考え進んで学び，自分の未来を切り拓く子の育成



【学校経営方針】

子どもを生かし，共に高め合うチーム春日野

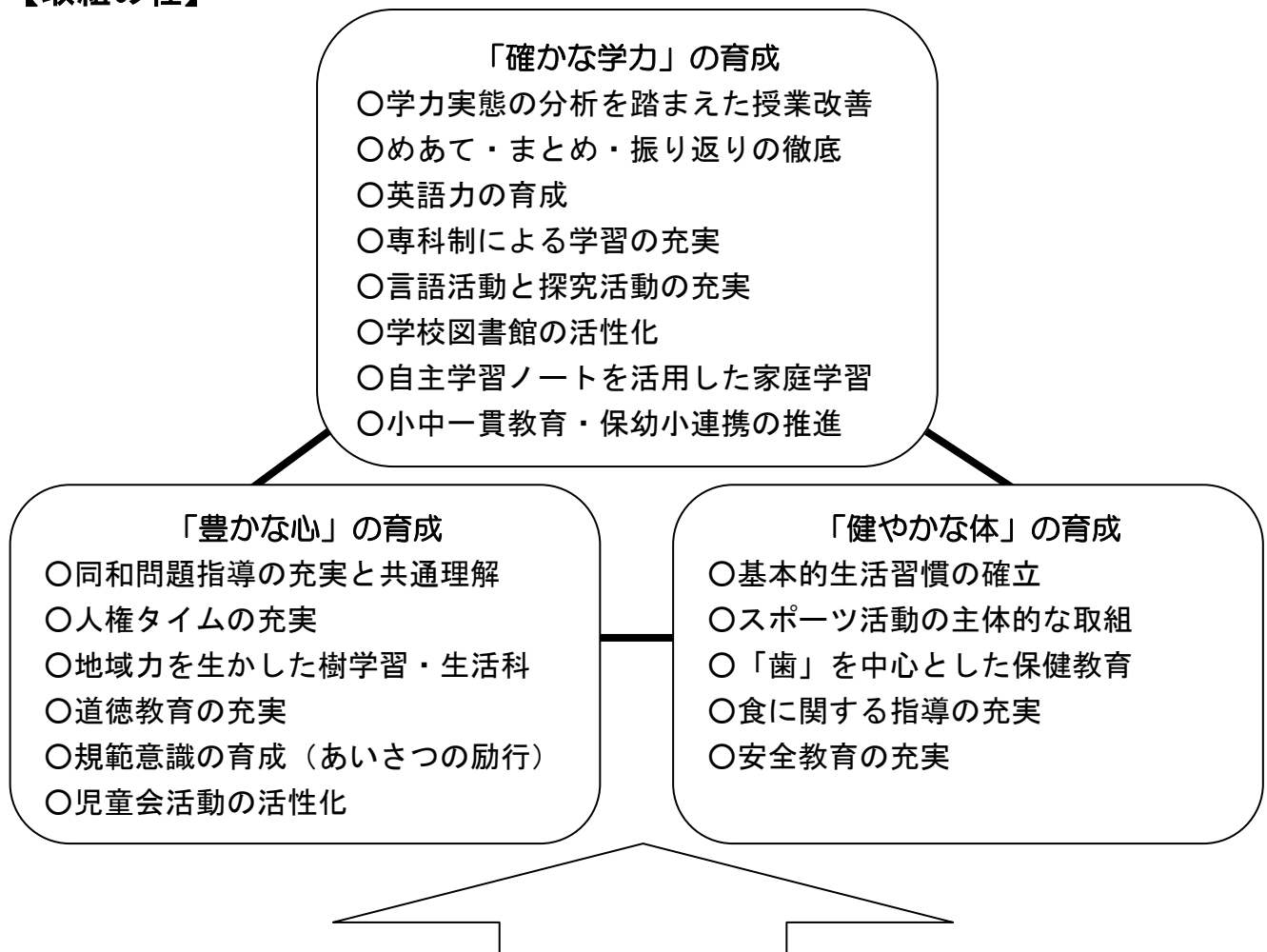
本校の子どもは、与えられた課題に対して真面目に取り組むが、主体的に学習したり行動したりすることが苦手であり、学力向上に至りにくい実態がある。学習環境の未確立が影響していると思われる。このような子どもに生きる力を付けるには、子どもの実態分析に基づいた取組とその改善が必要である。すべての子どもの基礎的・基本的な知識・技能の習得を基盤として、自ら考え進んで学ぶ力、自ら律する力を高め、確かな学力・豊かな心・すこやかな体の調和のとれた育成を目指すことが「子どもを生かす」ことであると考える。

そして、「子どもを生かす」ためには、教職員自らが教育者としての職責と学校教育の推進者であることを自覚し、確かな授業力と「当たり前が当たり前ができる」力を身に付けなければならない。手本となる教職員の姿を通して、子どもの主体性と社会性の育成を目指したい。

【目指す子どもの姿】

かかんがえる子 すすんでする子 がんばりとおす子 のびのびいきいきげんきな子

【取組の柱】



当たり前が当たり前でできる「チーム春日野」

安心できる学習環境

- ・子どもの命を守り切る体制
- ・秩序、規律と思いやりのある学級、学年、学校づくり
- ・見通しがもてる学習活動（授業のユニバーサルデザイン化、ノート作り）
- ・わかる授業（学力実態分析、教材研究、教材準備、教育支援・専科等との連携）
- ・共通理解した指導内容は根気よく最後まで
- ・子どもの「困り」に対する支援の推進

高め合い信頼し合う教職員集団

- ・主任・副主任を中心に情報の共有化
- ・けじめのある言動（子どもや保護者にとっての身近な手本）
- ・報告・連絡・相談の徹底
- ・OJTを意識した教職員集団
- ・優先順位を意識した仕事
- ・何でも話せる、聞ける、教え合える、助け合える集団
- ・相手意識をもった行動

家庭・学校運営協議会・関係機関との連携